

火曜日・土曜日 音楽療法



Y音楽療法士（火・土）

二十五周年おめでとうございます。毎週火曜の「なないろセラピー」と土曜の「カノープスセラピー」で音楽を担当させていただいています。

八国苑二十五年の三分の一ほどの歩みですが、火曜、土曜とも参加される利用者さんが四十名を超える日もある大きなセッションに成長してきました。どちらのセラピーも口腔機能改善を目的とした呼吸や発声に始まり、顔の表情筋を柔らかく鍛える運動やアルツハイマー予防を目的とした体操などをウォーミングアップとして行っています。季節の歌やなつかしの歌謡曲などを歌い、いろいろな話題で話に花を咲かせた後は、気持ちを一つにしてハンドベルの演奏をし、美しい音色を堪能します。また、普段は表に出ない若々しいパワーを全開にして、太鼓や鈴を演奏し笑顔が炸裂!!あっという間の一時間半です。音楽を通して自由に気持ちを表現し、感じた喜びを皆で共有できるような場になるよう努力しています。

これらのセラピーでは、夏に行われる納涼大会での演奏の発表を一年の目標に置いて練習していますが、年を重ねるごとに内容が充実してきている事を見張ります。そして、セラピーにはボランティアさんの助力が欠かせません。温かいボランティアさん達に支えられて今日まで続けて来られた事を感謝しております。これからも頑張っけてゆきたいと思ひます。

その他に、八国苑では職員の音楽活動が盛んです。その中で私の関わっているものをご紹介します。職員や元職員によるサークル「虹色アマービレ」は、ハンドベルとトーンチャイムの演奏を中心としており、年に二回八国苑でコンサートを開いています。またサークルとは別に、毎年クリスマスには「職員ミュージカル」を行っています。去年は「アニー」をやりましたが、仕事が終わった後に練習に、舞台作りにと頑張りました。利用者さんに大変喜んでいただけるので、これからも続けてゆきたいと思ひます。

太鼓タタキスト



F音楽療法士（土）

八国苑創立二十五周年おめでとうございます。土曜日の音楽セラピーで楽しく太鼓を担当させて頂いております。八国苑をご利用されている皆さんは音楽セラピーの時間も元気パワー炸裂です。

何故か！？

八国苑音楽セラピーがスペシャルなプロジェクトだからです。

- 一、音を楽しむのが「音楽」。
- 二、鳴らすだけでは音。リズムやメロディが乗って歌や楽曲。
- 三、奏でるのが演奏。
- 四、そこに魂が入って「八国太鼓」になるのです。

「老いる」という事は命のカウントアップです。山あり谷あり、泣いたり笑ったりの人生力、逞しさには脱帽です！
八国楽団の皆さんと打ち鳴らす太鼓はまさに「命の太鼓」です。

